

2020年1月31日

各位



「関西イノベーションネットワーク投資事業有限責任組合」の組合出資の追加加入について

池田泉州キャピタル株式会社(代表取締役 平松 勝己)が運営し、株式会社池田泉州銀行(頭取 CEO 鶴川 淳)等が出資する「関西イノベーションネットワーク投資事業有限責任組合(愛称:イノベーションファンド25)」は、本日、有限責任組合員の加入を新たに受け入れたので、お知らせいたします。

本件により、有限責任組合員は6者となり、引き続き、事業会社等より追加出資を順次受け入れていく予定です。

イノベーションファンド25は、池田泉州銀行グループがこれまで取り組んできたベンチャー支援を発展させ、関西地域の活性化に取組まれる企業や公的機関から各々の連携手法により資金供給や成長支援で参画いただき、地域経済活性化につながる「産学官ネットワークによるイノベーションエコシステム」の構築を目的に2019年9月に設立されたものです。

引き続き、組合員、行政、経済団体及び支援機関等と連携し、イノベーションファンド25を通じて、イノベーション創出が期待できる独自性の高い技術・サービスを保有し、今後将来性が見込まれる企業を育成し、地域への貢献に取り組んでまいります。

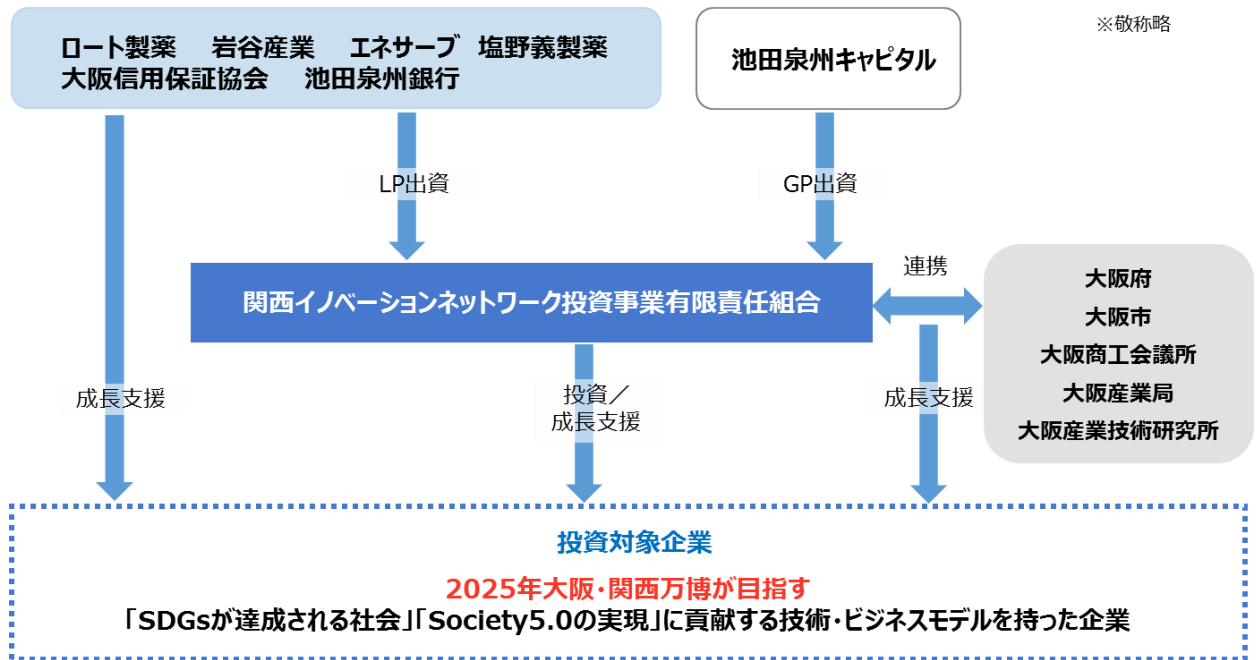
池田泉州銀行グループは、今後も「幅広いご縁」と「進取の精神」を大切に、お客様のニーズに合ったサービスを提供し、地域の皆様に「愛される」金融グループを目指してまいります。

【ファンド概要】

名称	関西イノベーションネットワーク投資事業有限責任組合 (愛称:イノベーションファンド25)
ファンド総額	設立時12億円(最大募集25億円)
有限責任組合員(LP)	株式会社池田泉州銀行、ロート製薬株式会社、岩谷産業株式会社、 <u>大阪信用保証協会</u> 、 <u>エネサーブ株式会社</u> 、 <u>塩野義製薬株式会社</u> ※順次、追加出資を募集
無限責任組合員(GP)	池田泉州キャピタル株式会社
投資対象	大阪・関西万博が目指す「SDGsが達成される社会」「Society5.0の実現」に貢献する技術・ビジネスモデルを持った企業
投資形態	普通株式、優先出資等
設立日	2019年9月20日
存続期間	10年(最大2年まで延長可)
連携機関	大阪府、大阪市、大阪商工会議所、公益財団法人大阪産業局、地方独立行政法人大阪産業技術研究所、株式会社池田泉州銀行 (2019年10月31日『関西イノベーションネットワーク投資事業有限責任組合』を通じた連携に関する協定書』を締結)

※下線は、2019年9月20日の設立以降に新たに加入した組合員です。

【ファンドスキーム概略】



【投資の状況】

投資先名	分野	事業概要
セーフィー(株)	AI/IOT	クラウド型映像プラットフォーム「Safie」を開発・運営
ArchiTeK(株)	テクノロジー	センシングLSI（超小型AIエッジ・画像処理プロセッサ）開発
(株)リモハブ	ヘルスケア	遠隔管理型心臓リハビリテーションシステムの開発

以上